

## 11 月定例記者懇談会

令和7年11月25日（火）

11 時 00 分～11 時 45 分 203 会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、中日新聞 事務局：唐澤、鈴木、小笠原、濱
---

### 町長月間予定（総務課）

○月間行事予定の説明

### 町の主なトピックス（担当課PR分）

○箕輪町交通事故多発警報の発令について（くらしの安全安心課）

○もみじ湖紅葉祭り来場者数について（商工観光課観光係）

○ツキノワグマ被害対策について（みどりの戦略課森ビジョン推進係）

○箕輪町 SDGs 未来都市選定記念・箕輪町発足 70 周年記念テレビ番組について  
（企画振興課みのわの魅力発信室）

### 町長コメント

・町長 3 期目基本政策集進捗状況

## 1 箕輪町交通事故多発警報の発令について（くらしの安全安心課）

### ○概要

別添資料（p2）にて説明

町内では11月5日から11月23日までの間において、重大交通事故が3件立て続けに発生しました。これを受け、令和7年11月25日本日付で、箕輪町長名にて箕輪町交通事故多発警報を発令することを決定しました。

（町長）年間通じて人身事故も一定数ありますが、今回立て続けに発生したことから警報を発令させていただきました。このところ大きな事故がなかったことから少しショックを受けております。

活動が十分でないのか、交通安全のルールが十分守られていない部分があるのか、それとも高齢者に起因する事故なのか、それぞれ検証しなければいけないと思いますが、まずは警報を発令させていただき注意喚起をしたいと思います。

（記者）発令の基準はありますか。また、注意喚起の期間が決まっていたら教えてください。

（担当）今回は交通事故多発警報ですが、そのほかに交通死亡事故多発警報等があります。交通死亡事故多発警報は、10日間に2件以上または死亡事故1件プラス重傷事故が目安になっていますが、今回は20日間程度ということもあり、このような表現をさせていただいています。また、みのわメイトでの注意喚起は本日から1週間程度できれば毎日異なる文面を出していきたいと考えています。

## 2 もみじ湖紅葉祭り来場者数について（商工観光課観光係）

### ○概要

別添資料（p3）にて説明

もみじ湖紅葉祭りについて、10月25日から11月9日の予定でしたが、紅葉の時期が例年より1週間遅れたため、ライトアップやマルシェも含め1週間延長しました。

来場者数の計測期間は、10月24日から11月20日になります。

（町長）紅葉まつりにつきまして、報道機関の皆さんの写真等を含めてご協力いただきましてありがとうございました。大変大勢の皆さんにお越しいただきました。

細かな、確実な数字まではまだ出ておりませんし、今後も十分対応できていない部分もありますが、6万4000人ということで報告をさせていただきます。

特にマイカー規制の今回の方法について、通常は連続した5日間とか1週間規制していましたが、今回は土日を含めた2回に分けた体制をとりました。最初の3日間はまだ紅葉には早かったため、大勢の皆さんとはいきませんでしたが、次の11月の8日・9日のところは紅葉がピークになり大勢の方に来ていただきました。

交通規制が渋滞の防止にはなったと思いますので、この規制方法については十分対応できたと思っています。

11月8日は車が一番多く、1300台が下に駐車し、そこからシャトルバスという運用をさせていただきました。

今までの中でも数が多い方だと思いますが、一度にそれだけ上がってしまうと大変な事態になりますので、そういった意味ではよかったと思っています。

一方で、規制があることによって平日の方にだいたいが動いている部分があり、未広広場は特に月曜日火曜日にパンク状態になっていて、車が入りきれない状況がありましたが、これは致し方ない部分かなと思っています。もっと駐車場があれば、上にあげさせないのが一番いいですが、現状なかなか厳しい状況で、上へあげざるを得ない状況だと思っています。

また、細かな分析はこれからですが、県外からのお客さんが例年に比べて多くなってきていること、土日を中心に若い皆さんの入りが非常に多かったということと、インバウンド客も多くなっているというような状況のようであります。

これから詳細分析をして、来年度に活かしていきたいと思っています。

### 3 ツキノワグマ被害対策について (みどりの戦略課森ビジョン推進係)

#### ○概要

別添資料（p4-12）にて説明

今年度のクマの目撃箇所をマップに落とすと、目撃場所の多くがゾーニング上の緩衝地域であり、またクマの人里に近づく際は河畔林を主な移動ルートとしており、排除地域に侵入してくる個体はまれであると思われます。

このことから、クマが緩衝地域に入りづらい環境づくりがクマ被害を防止していくために必要な対策、取組みだと考えます。

この活動を継続していくことがとても重要であり、今年度は昨年度に比べて目撃件数は減少しましたが、昨今の状況を鑑みると安心できる状況ではないと思います。来年度以降も地域の皆さんと一緒に被害対策に取り組んでいきたいと思っています。

(記者) 電気柵の補助金を新設したということですが、設置した距離など分かりますか。

(担当) 距離は分かりませんが、5か所で今後の執行予定も含めて補助金で36万4000円になります。

(町長) 果樹園の周りが多いです。クマはリンゴを狙っており、緩衝地域では帯無川と深沢川が通り道になっていることから、刈り払いや誘因物をなくすことが町としての課題であり、来年の春までにできればと思っています。春以降の刈り払いも地元をお願いをしながら、出没件数を少なくするとともに、通学路もあり子どもたちの安全は重要ですので、対応していきます。

### 4 箕輪町 SDGs 未来都市選定記念・箕輪町発足 70 周年記念テレビ番組について (企画振興課みのわの魅力発信室)

## ○概要

別紙資料（p13）にて説明

## ○町長コメント

来週から町議会 12 月定例会が始まります。

資料はありませんが、一つは予算の中でみのわテラスの道の駅に関わる設計業務を予算計上しています。

みのわテラスについては、今までいろんな検討を重ねて、道の駅を目指そうということで、今まで対応してきたわけでありますが、いわゆる賑わいの場所から、これからは観光面も含めて大勢の皆さんに来ていただくということを想定しながら、ただ単なる道の駅にはしないということであり、あくまで農を主体とした道の駅にしたいというコンセプトの中で、設計業務に入りたいと思っています。

道の駅そのものについては令和 9 年 4 月に道の駅をオープンしたいと思っており、これから登録作業をさせていただきます。

併せて設計などやってみないとわからない部分も若干ありますが、駐車場の拡張と今加工場になっている真ん中の部分の拡張をしていきたいことと、北側の駐車場に屋内遊戯施設を作りたいということを含めて設計に入りたいと思っています。

コンセプトとすると、農の体験をするような場所だとか、農的な遊びができる場所ということ、もう一つはあの場所は冬場寒さも含めて、非常に風が強いということもあって、公園の利用が進まないということがありますので、屋内施設を作りたいと考えています。

どんなものを作るかについてはいろんな議論をしているところでありますが、デザインとかレイアウトとか中身とか、そういったことについて設計業務の中で検討をしていきたいと思ひまして今回予算計上させていただきます。

1 年で施設はできないと思いますので、場合によっては令和 9 年 4 月の段階で、できていない部分もあると思いますが、それ以外についてはフルで動かしていきたいと思っています。

おかげさまで土日を中心にかなり大勢の方に来ていただいております、秋は特に農産物の季節でもありますので、来ていただいております。

国の経済対策も出てきましたが、まだ重点支援交付金の配分額がわからないということや、これからメニューを検討しなければいけないので、12 月議会には計上いたしません。

どこかの段階で臨時議会を開かざるを得ないと思っています。

（別添資料：町長 3 期目基本政策集進捗状況により説明）

町長 3 期目の基本政策集について、令和 7 年 11 月現在で発表させていただきます。

この 11 月で 3 期目 3 年が経過します。

大変早いなと思っていますが、政策の進捗状況について、1 期目からずっと報告をしてきております。

町長も大きな権限があって注目されますが、議会からのチェックがあるとはいえ選挙は 4 年に一度ということもありますし、無投票が続いたこともありまして、町民の皆さんから常にチェッ

クを受けていく必要があることも含めて進捗状況を出させていただきました。

進捗の評価につきましては、これは私自身の評価ではありません。

担当課の皆さんにそれぞれの項目について評価をいただきました。

実は私が持っている達成イメージと職員が持っている達成イメージとだいぶ違っていて、私はもう少し高い数字を望んでいるよりも、十分それぞれ実施したと思っていますが、職員の側から見ると、実施したというよりは、成果があがっているかどうかという形で見ています。

そのような意味では客観性が高い評価になっていると思っていますし、職員の皆さんにとっては町長の公約が2年、3年経つうちにどうなっているのかわからなくなってしまうてはいけませんので、認識をしてもらうためにも、職員にお願いをしています。

それと、個別政策集とは別に、本年度について言えば、70周年の記念事業がほぼ完了ができたということ、それとクマ対策のようなゾーニング指定によって一定の成果があがっているということ、こども計画策定後、こども真ん中社会に対する取組みが始まったことや、SDGs 未来都市に選定され、それを起点としてまちづくりをしていくこと、また教育委員会では、TOCO-TON（トコトン）ではありませんが、子供主体の学校づくりが始まったようなことについて、全体とすれば、いい方向に向かっていると思っています。

この政策集の1ページに、実施済みまたは具体的な成果が表れているもの、取組中で進捗度合が高いもの、取組中、未実施というように、それぞれの数が6項目、24項目、23項目、1項目となっており、実施済みまたは成果が表れており、当初のものが終わったという項目が6件という評価をいただきました。

2ページの2番目に物価高騰対策がありますが、これは4というような評価をいただきました。

物価高騰対策は、財源の問題もあるので、十分というわけではありませんが、一応事業ができたという評価です。それから3番目・4番目の地区防災力や高齢者の見守りについて、地区防災計画は全て作成され、個別避難計画も東西の土砂災害警戒区域を中心に策定をしましたので、もう少し評価をしてもいいと思いますが、2というような評価になっており、これからまだやらなければいけないと思います。また、今まで全くされていないとされていた5番目の防災訓練のあり方の中で、夜間の訓練や宿泊体験訓練など実践型の訓練がなかなか実施できなかったわけですが、地域主体とはいえ避難所の開設訓練ができたことや、職員の夜間訓練を一部実施ができたことで2という評価をしました。これはまだ住民避難を伴うものまでではなく、本部の設置や避難所の開設など夜間の訓練は難しいですが、他地区へと広げていきたいと思っています。

3ページでは、2番目の若者の定住を促進するための家賃補助制度について、この制度は他の自治体ではあまりありませんが、移住を決めたときにすぐ住宅を建設するというわけにはいかず、賃貸物件に入ることが多いこともあって、一定の期間ですがこのような制度を設けるとことは、政策として実施していますので、4というような評価になったと思います。

4 ページでは、1 と評価されているリニア中央新幹線・三遠南信自動車道を見据えたまちづくりについて、町とすれば長野県駅に対するアクセス、または2次交通などの内容がまだ検討されていないので、新しい箕輪町単独の事業を組むというわけにもいかず、この辺が課題と思っています。また何より、リニアがいつ開通するかという見通しがJRの方から出てこないことから、切迫感や何をするのかは見えないということと、2次交通に即した観光やまちづくりが見えてこないとできないこともありますので、今の状況では評価は難しいかなと思います。

一方で会議体への参加や会議は積極的に実施をしており、幸田町や庄内地区を見据えたときに三遠南信自動車道の位置づけは非常に必要性が高いので、この辺については今一度この考え方に沿ってやっていかなければいけないと思っています。

また、13 番目に町民から要望の多い皮膚科、耳鼻咽喉科を標榜する診療所の誘致があり、今回皮膚科・形成外科・産婦人科の誘致はできましたが、耳鼻咽喉科についてはなかなか対応できないということもあり、この点については引き続き実施をしていきたいと思っています。

5 ページでは、2 番目に露地型太陽光発電設備を適切に設置するための町の独自条例の整備の政策があり、条例を整備せず4 となっています。町の条例を制定したいと3 年前の当時は考えていて、検討もしましたが、県が条例制定しましたので、町としては条例制定しないことに切り替え、それに関わる指針を制定し運用し、一定の整備ができたということで4 という評価がされたと思っています。これについてはこの内容で今後も実施をしていきたいと思っています。

6 ページでは、4 番目の家庭菜園や6 番目のスマート農業の研究、7 番目の森林ビジョンに基づく地区ビジョンですが、この点については、少し具体性が出て実証してかなり進んできたということで、3 という評価がされたと思っています。

7 ページでは、なかなか進まず対応が難しいと思っているのが一番下のいじめ、不登校に関わる体制整備、居場所づくりですが、教育委員会を含めて進めてはいますが、具体的に不登校の人数が減少するところに至っていません。具体的な取り組みも行っていますが、なかなか進まないと感じています。

8 ページでは、評価が2 から3 にだいぶ動いていますが、スポーツ系については、体育館と設備の問題等について、だいぶ進展してきていると思っています。

9 ページでは、3 から4 になっているのが公共施設の新設改修にあたっての行政と住民等のアイデア出しで、ワークショップをそれぞれ重ねている部分もあり、4 という評価をされ、一定の成果があったと思っています。

この中で今後の課題として、一つは工場誘致を進めるための立地の選定を行いましたが、まだまだこれから事業化、具体化をするためのところで、まだ立ち止まっている部分がありますので、来年度以降の大きな課題だと思っています。

それと先ほど申し上げましたみのわテラスの道の駅への登録も新たな整備で経費もかかりますので、課題として持っています。

それと町民体育館の改修後の管理や運営の問題とあわせて、これを契機にしてスポーツ振興をどうするか考えなければいけないことと、部活動の地域展開も含めてスポーツに関わる課題を整理していかなければいけないと思っており、これらについては、来年度以降の大きな課題だと思っています。

こういったことが申し上げた形で進捗状況として、職員評価がされましたので、ご報告をさせていただきます。

少しでも具体的な成果として職員も住民の皆さんにも感じていただけるように取り組んでいきたいと思っています。このためにこれから予算編成作業が入りますが、具体的な事業に他の成果が結びつくような事業展開を図っていきたいと思っています。

任期最終年度に入ります。

そういった意味で、3期中の集大成ということではありませんが、少なくとも、政策集でお示した内容については私自身の責任として、できる限り皆さんに評価をされるようにやっていきたいと思っていまして、その報告をさせていただきます。

以上です。

(記者) みのわテラスの設計について今年度中に設計を終えて、来年度中に事業をするというようなスケジュールですが、道の駅の登録についても、来年度中に登録をお願いするというようなスケジュールとして考えていらっしゃるということでしょうか？

(町長) ハードの部分については、今の加工所から自転車店の建物の間を繋げますので、繋げるような設計にしたいため、それは設計をして事業化までたどりつき、来年度中に実施をしたいと思っています。

先ほど申し上げたように、北側の駐車場に屋内遊戯施設を作りたいと思っていまして、それについては来年度中にはちょっと無理なので、令和9年4月の段階ではできていないと思いますが、道の駅登録そのものは、登録作業に入りますので、これで令和9年4月にはみのわテラスは道の駅になりましたということでオープンしたいと思っています。

登録申請は、3月と9月の年2回です。

(記者) 先ほどのお話の中で任期最後の年を迎えるということですが、現時点で1年後の町政に関してのお考え、お気持ちを現時点でお聞かせいただければと思います。

(町長) 何も考えていないです。まだ1年あるので、その後のことは全く考えていないですが、やり残したことはないように任期中のことをやりたいと思っています。

どうしてもまだやらなければいけないことがいくつかあって、それについては来年1年をかけてやっていきたいと思います。

一つ申し上げていないのは、国民スポーツ大会まであと2年しかありませんので、ハード的なことや仕組みを作ったり、受入体制を整備したりしていかなければいけません。

(記者) 今の話と重複してしまいましたが、ハード事業の話が出るときに、今まで時間かけてや

ってきて、集大成としてほぼ終わりに近づいたという話を何度かお聞きした気がしますが、今までの任期全体で見て、ご自身の今やらなければいけないこと、達成しなければいけないことについて、どの程度のご自身の中でのお気持ちなのか教えてください。

（町長）何度も同じようなこと言っている気もしますが、就任したときに公共施設の耐震化やリニューアルをしてこなかったことによって、必要以上の経費がこれからかかるという感じがしましたので、まずは町の施設の耐震化、できれば改修をしていく、また別の用途に切り替えていく仕組みを 10 年間やってきました。

その最終が町民体育館です。

新たなものはできるだけ新設しないということで、新設だと思われるみのわベースについては、これは社会福祉総合センターの代替施設であり、新たな施設を整備するのではなく、将来を見据えたりリニューアルをやっていきまして、ほぼ終わります。

あと、学校の長寿命化やこれから行う松島保育園の長寿命化など、課題は若干ありますがほぼ終了ですので、私達の目先はハードからソフトへ切り替えていこうと思っています。

子育て、福祉、教育、こういったところに力点を置いて政策課題は切り替えていきたいと思っています。

それと町の存立基盤である、箕輪町に対する地域外からの位置づけとして、町の魅力の発信の取組みをしてきており、その残りが道の駅ですので、道の駅は単なる観光地のような意味合いは持っておらず、箕輪町ということ意識してもらえるような施設を作って、田園工業都市にふさわしい農ある暮らしと農家の皆さんの考え方などが浸透できるような施設をつくるという部分があり、そういったことも含めてソフト面の充実をこれからしていかなければいけない、いわば行政の質的なレベルを上げていくことだと思っています。

もう一つは人口減少の問題です。人口減少については当初、就任したときに大きく減りましたが、それ以降自然減に対応でき、自然減がやむを得ないという部分で落ち着いてきている中で、その歯止めをかけられたと思っています

もちろん今後も人口減少していき、令和 50 年あたりには 2 万人切れも想定されていますが、これはやむを得ないことですので、先ほど子育ての問題に触れましたが、出生数をいかに維持できるかが一番の課題だと思っています。そのための子育て政策やこども条例を作って、整備しましたがその後のことはまだまだ難しい状況です。

全体として、就任したときのイメージからすれば異なるかもしれませんが、進んできている感覚でいえば、職員の協力があり、概ね描いたような形で、3 期目が終わるのではないかと考えています。

ありがとうございます。